

2 発掘調査受託事業

民間調査組織を活用し、以下の発掘調査及び整理・報告作業を実施する。

(1) 本発掘調査 31,514 m² **【資料1】**

国交省直轄国道関係 : 6 遺跡

(2) 整理・報告作業 **【資料2】**

整理編集・報告書刊行 : 4 遺跡

3 保存処理【資料3】

ア 木器保存処理

大型木製品257点、小型木製品67点と平成29年度報告書刊行遺跡分の保存処理を行う。

イ 金属器保存処理

鉄製品92点、青銅製品146点の保存処理を行う。

ウ 木器・金属器とも、保存処理による収縮・変形への対処・補正のため、処理前に実測・写真撮影等の記録作業を行う。

4 資料整理・管理

発掘調査による出土品及び記録類を保管するとともに、他機関の報告書や専門図書を考古学・歴史学などの学習・研究資料として、研究者・県民が活用できる場を提供する。

ア 保管

- ・出土品・記録資料の保管
- ・図書類の保管、奈良文化財研究所が運営する報告書インターネット公開の参加準備

イ 記録類の整理

- ・写真記録の体系的な整理
- ・図面のマイクロフィルム化作業

ウ 資料の活用・貸出し・閲覧

- ・出土品、写真等の貸出し、資料調査対応
- ・埋蔵文化財に関する調査・研究を進めるため、情報・資料・図書等の収集を行う。

エ 再整理

復元からの経年により劣化が著しい土器の修復、収納材の点検交換、管理台帳の整備を行う。

5 普及啓発事業

現地説明会、遺跡発掘調査報告会等の開催や、学校等が行う体験学習支援などの普及事業を行うとともに、発掘調査報告書や広報紙等の刊行により、調査結果を県民に還元する。

(1) 普及啓発

ア 埋蔵文化財センター内の展示

常設展示のほか、企画展等を開催する。

イ 埋蔵文化財センター利用者の見学案内

来館者の希望に応じて、埋蔵文化財センターの展示品等の説明案内を行う。

ウ 現地説明会の開催

発掘調査現場において、調査中の遺構・遺物を公開し調査成果を報告する。

エ 事業団主催事業

【企画展】

春季企画展『火焰型土器－縄文の息吹－』

- ・会 場：埋蔵文化財センターエントランス展示コーナー
- ・期 間：平成30年4月13日(金)～6月24日(日)
- ・内 容：平成29年3月に十日町市指定文化財となった縄文時代中期野首^{のくび}遺跡出土品を借用・展示

夏季企画展『丸木舟の考古学』

- ・会 場：埋蔵文化財センターエントランス展示コーナー
- ・期 間：平成30年7月6日(金)～12月9日(日)
- ・内 容：阿賀野市石船戸遺跡出土の丸木舟に関する出土品や青田遺跡出土の櫂、及び県内の関係資料を展示

巡回展『縄文の造形美－六反田南遺跡と火焰型土器』

- ・会 場：魚沼市目黒邸資料館 平成30年5月26日(土)～7月16日(月)
村上市縄文の里・朝日 7月21日(土)～9月24日(月)
佐渡市立佐渡博物館 10月6日(土)～12月16日(日)
埋蔵文化財センター 12月21日(土)～平成31年3月24日(日)
- ・内 容：平成29年度巡回展『縄文の造形美－六反田南遺跡』展示品の新資料に交換する他、共催3市の火焰型土器を巡回展示

【講演会】

- ・新潟県埋蔵文化財センター講演会
- ・会 場：埋蔵文化財センター
- ・内 容：新潟県内の調査例や出土遺物関連の講演
(平成30年4月23日から平成31年3月17日の間で全12回実施予定)

【第23回 遺跡発掘調査報告会・発掘展】

遺跡発掘調査報告会

- ・会 場：新潟県立生涯学習センター
- ・日 時：平成31年3月10日(日)
- ・内 容：平成29、30年度発掘調査の報告、シンポジウム「白河^{しらかわのしょう}荘の考古学」

発掘展『発掘！新潟の遺跡2018』

- ・会 場：新潟県立図書館 平成31年3月4日(火)～3月17日(日)
- ・内 容：平成29・30年度の発掘調査出土品を展示

【親子考古学教室】

- ・場 所：埋蔵文化財センター
- ・日 時：8月5日(日)、8月8日(水)
- ・内 容：センターの仕事・展示品説明、火起こし、土器作り、編み物作り等

【まいぶん祭り】

- ・場 所：埋蔵文化財センター
- ・日 時：10月7日(日)
- ・内 容：勾玉作り、火起こし、バックヤードツアー等

【少年少女考古学教室】

- ・場 所：埋蔵文化財センター
- ・日 時：6月17日(日)を初回とし、全4回
- ・内 容：土器作り、野外観察、石器使用、拓本、編み物作り等

【遺跡発掘地での展示会】

- ・場 所：各現場事務所
- ・日 時：発掘調査現地説明会開催日
- ・内 容：発掘現場の現状(成果)報告に併せて県教委が周辺で調査した遺跡の写真や遺物を展示する。

【体験学習・出前授業】

学校教育の場として埋蔵文化財センターの施設・設備を提供し、火起こし、勾玉作り、石器使用などの体験、教材貸出し及び展示見学などの校外学習支援や、希望する学校に指導者を派遣し出前授業を行う。

【職場体験・インターンシップ等の受け入れ】

中学生や高校生に埋蔵文化財に関連する職種や内容を解説、体験してもらい、将来の進学や就業選択の一助となるよう支援する。

オ その他施設等との協力事業

「花と遺跡のふるさとフェスタ」への参加

秋葉区産業振興課の主催事業に「花と遺跡のふるさと公園」「石油の里公園」エリア内の各施設とともに参加し、火起こし、管作り、展示解説などを行う。

- ・会 場：埋蔵文化財センター
- ・期 日：平成30年6月3日(日)

「フラワースタンプラリー」への参加

公益財団法人新潟県都市緑花センターなどが主催する「フラワースタンプラリー」に参加し、来場者には抽選で景品を贈呈する。

- ・期 間：平成30年4月～6月

(2) 広報紙・調査研究誌等の刊行

ア 『埋文にいがた』103～106号

刊 行：年4回(6・9・12・3月) 2,200部(各号)

配布先：小・中・高校、市町村教育委員会、図書館、博物館、都道府県教育委員会、他関係機関

イ 『年報』

刊 行：年1回 30部・電子版をホームページで公開

配布先：市町村教育委員会、発掘調査事業者、財団役員等

ウ 『研究紀要』

刊 行： 300部

配布先：市町村教育委員会、図書館、博物館、都道府県教育委員会、他関係機関
エ ホームページ・メールマガジン、ソーシャルメディアによる情報の提供
埋蔵文化財センターの催し物や事業内容、日々変化する発掘現場の様子や、周辺施設等の利用もあわせた埋蔵文化財センターの活用資料等を積極的に情報提供する。

6 埋蔵文化財調査技術の指導及び研修

日々進展している内外の各種情報を共通認識し情報の共有化を図るとともに、発掘調査業務に対して迅速に対応するため、職員研修への参加及び安全衛生研修等を実施する。

また、要請に応じて市町村 発掘調査技術指導等を行う。

(1) 市町村発掘調査技術指導

要請に応じて随時実施する。

(2) 職員研修

- ア 全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修
- イ 関東甲信越静地区埋蔵文化財担当職員共同研修
- ウ (独)奈良文化財研究所主催研修
- エ 県教委主催専門職員研修
- オ 文化庁埋文担当職員等講習会

(3) 安全衛生研修等

- ア 安全衛生講習（10月）
- イ 火災訓練（9月）

7 埋蔵文化財センターの管理運営

指定管理者として、埋蔵文化財センターが快適な環境のもとでの利用が行われるよう、センターの運営及び施設・設備機器の保守管理を行う。

なお、新潟県との埋蔵文化財センターの管理運営に関する協定期間は、平成26年度から平成30年度までの5年間となっている。

8 全国埋蔵文化財法人連絡協議会

- (1) 総 会：兵庫県（6月予定）
- (2) 役員会：福島県（5月予定）、東京都（12月予定）
- (3) 研 修：千葉県（11月予定）
- (4) 中部・北陸ブロック連絡会議：新潟県（10月予定）